

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	独自の理念があり、見やすいところに掲げている。理念を共有し、日々意識し実践している。	「お互いの心と笑顔を大切にあったかい言葉と関わりで大きな安心を」というホーム独自の理念が模造紙に大書されリビングの壁に張られ、利用者や家族、来訪者にも分かり易くなっている。職員はその理念がケアに反映されているかどうか、勉強会や研修で振り返り実践に活かしている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	散歩等外出の際は、地域の方に挨拶し交流を図っている。地域行事には積極的に参加させて頂き、交流を図っている。	複合施設として自治会に加入している。毎週金曜日の美化活動を継続しており、周辺道路の草取りやごみ拾い等地域の美化に積極的に取り組んでいる。近くの幼稚園主催のお楽しみ会への参加や小学校の運動会への参加、今年は中学校の文化祭への参加も計画しているという。地域で行われる行事(どんど焼き、どんとこい祭り、ふれあい祭り)に参加し、また、行事、傾聴、俳句、朗読等のボランティアやインターンシップの受け入れもあり日常的に地域の人々と交流している。法人の上田西地区全体のお便り「ちょっとみてみて」は季節ごとに発行され地域の方々にも配布されている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の会合や研修等の関わりは持っていないが、今後そのような依頼が来た場合は、行えるよう対応している。また、人材育成の貢献として、実習生の受け入れも積極的にやっている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	利用者状況や活動報告を毎回行っている。また、グループホームの行事に参加して頂くことにより取り組みや活動内容を見て頂いている。	運営推進会議は奇数月に定期的に行われている。参加者は利用者や家族、地域住民、消防署員、地域包括支援センター職員、市担当職員で、更に今年度より町副自治会長も加わり、利用状況や活動状況を報告後、意見交換を行いサービス向上に活かしている。7月の運営推進会議は「七夕バーベキュー大会」と同時に開催しホームの取り組みや活動内容を生で見えていただくことができた。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市の職員にも運営推進会議に参加して頂き、その中で連携を図り、サービス向上に取り組んでいる。	判断に迷うことや分からないことなどを気軽に相談できる協力関係が築かれている。運営推進会議の中でも家族が理解しづらい「介護保険の改定など」を分かり易く説明していただいた。3ヶ月毎に介護相談員の来訪があり助言もいただいている。認定更新や区分変更時は家族にも同席していただきホームでの生活の様子を認定調査員伝えていく。ホーム職員も認定調査員研修を受講しており委託のある時は代行調査を行っている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	常に御利用者の居場所を確認している為、居室の鍵をかけることはない。1階へ降りるエレベーターは、常に施錠された状態だが、御家族に説明し了承を得ている。	身体拘束防止委員会・高齢者虐待委員会により研修が徹底して行われている。また、マニュアルがあり、正しく理解できている。研修中は身体拘束の「疑似体験」も合わせて行い、拘束がもたらす弊害を身をもって感じケアに活かしている。外出についても個々の希望や訴えに応じて可能な限り対応している。外気浴や日光浴を兼ねてベランダに出て気分転換もしている。	

グループホームうえだはら敬老園

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止関連法をファイルし、読み合わせを行っている。また、虐待の徹底防止に努めている。さらに地区合同研修の高齢者虐待防止に参加し意識を高めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護事業や成年後見制度についての資料をファイルし、読み合わせを行っている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	重要事項の説明等詳しく行い、納得を得た上で、契約の手続きを進めている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者は介護相談員、第三者委員が来園し、1対1で話を聞いてもらっている。ご家族は、面会時または電話にて利用者の状況を伝えている。また、グループホーム便りを発行して暮らしぶりを伝えている。出された意見、要望は会議で話し合い反映させている。	殆どの利用者が自分の意見や要望を言葉で表出することができ、可能な限り対応している。介護相談員や第三者委員の来訪時には個々に話を聴いていただいている。家族の意見・要望は面会時にお聞きし、できることは直ぐに対応している。家族会が定例化されており参加者も多く、また、外出行事の際には出来るだけ一緒に出掛けていただき、要望等を言い易いような機会を設けている。家族あてにグループホーム便りを毎月発行しホームでの暮らしぶりを伝えている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	グループホームスタッフ会議以外でも、日頃からコミュニケーションを図るよう心がけ、常に各職員の意見を聞き、運営に反映させている。	日常的に職員の意見を聴き、スタッフ会議の中でも意見やアイデアを聴く機会を設け運営に反映させている。人事考課制度があり各自、目標を立て、毎月自己評価を行っている。職員は半年に一度管理者と面談を行い、日頃の業務の振り返りを行いながら悩みなども話している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	法人で人事評価制度を導入し、個人での自己評価を毎月行うほか管理者との面談等を通し、実績を評価と給与に反映させる仕組み作りを行い、向上心を持って働ける職場環境作りを努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内外の研修に積極的に参加できるようにしている。専門職としてのスキルアップを図るため、各職員に、資格取得に向けた勉強会や実践者研修への参加をすすめている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他のグループホームと相互訪問や、事例検討等の意見交換を行い親睦を図っている。また、活動を通じて意見をケアに取り入れサービスの質の向上に努めている。		

グループホームうえだはら敬老園

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	サービス開始以前に本人と面会を行い、本人自身の訴えや願いをよく聴き、受け止めるよう努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	初期の段階から困っている事を聴き、安心して利用して頂けるよう努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談の段階では、まず本人、家族の話をしっかり聴いて、内容によっては、他のサービス活用を勧めることも考え対応している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人の思いや根本にある苦しみ、不安、喜び等を知ること努め、共に支えあえる関係作りに留意している。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	本人の日々の様子や変化等は、家族に報告し共有して支援の方法、対応について意見を交換している。また、家族会を開催し、家族同士の交流の機会を設けている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	友人や家族と会ったり、家族との外出や外泊、馴染みの場所に出かける機会を作っている。利用者の友人や親戚が訪ねて来られることもあり、お付き合いが続くよう、雰囲気作りなどにも配慮している。	お盆や正月に家族と過ごされる方や外泊される方がおり、行きつけの美容院に家族と一緒に掛ける方もおり、一人ひとりの希望に合わせて支援している。家族や親戚、ご近所や隣組の方たちの来訪もあり、馴染みの関係が途切れず継続できるよう支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	仲の良い利用者同士が交流を持てるように配慮している。また、孤立しがちな利用者には、家事やレクリエーション参加で、自然に皆の輪の中に入れるようにしている。		

グループホームうえだはら敬老園

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービスの利用が終了された御家族の方にもアドバイスを頂いたり、相談に乗っている。終了の際に御利用者や御家族にその旨を伝えるように心がけている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	個々の希望や意向を把握できるよう、日々関わりを持ち探るよう努めている。本人本位の検討を心掛けている。	言葉で表出できない利用者には日常生活の中で表情から汲み取ったり、家族に生活暦などを聞かせていただき把握に努めている。入浴時間の希望や食べたい物等は随時お聞きし活動の中に取り入れ対応している。できることや好きなこと、趣味の活動なども継続し、本人の思いに沿って対応している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	センター方式を活用し、本人や家族に尋ねたりしながら、これまでの暮らしの把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々、勤務交代の際の申し送りや記録によって情報共有し、対応を考えている。月に一度スタッフ会議を実施し、それぞれの暮らし方とそのための支援を検討している。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケアマネージャー等を中心として、本人、家族、関係者の希望や意見を反映した介護計画を作成している。	職員は利用者1~2名を担当し、本人や家族、計画作成担当者等と相談しながら介護計画を作り上げている。毎月のスタッフ会議の中でも時間を割き、心身の状況について話し合い適切なプランであるかどうか検討している。3ヶ月に一度は見直しの機会を設け、現状に即した計画の作成を心がけている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	些細なことも個別記録に残し、その場になかった職員にも情報が伝わるよう努め、実践や計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	隣接事業所のクラブ活動やボランティアのご協力を頂いて、趣味活動の充実に努めている。併設のデイサービスの体操・レクリエーションに参加して頂いている。		

グループホームうえだはら敬老園

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	傾聴・朗読・俳句のボランティアや、レクリエーションと一緒に参加してくれるボランティアを受け入れている。また年2回の防災訓練には消防署へ協力をお願いしている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人、家族が希望するかかりつけ医となっている。また、月一度は訪問診療に来てもらっており、各医療機関からの情報は個別記録と共に保管し皆で共有している。	本人や家族が希望するかかりつけ医となっている。現在、同じ法人の運営するクリニックの訪問診療を受けている利用者が殆どで24時間365日の安心が保障されている。月に2回は訪問看護ステーションから看護師が来訪し、健康観察や相談支援を行っている。必要時には他の医療機関や専門科目など、適切な医療を受けられるように配慮している。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護ステーションと連携し、月3回健康観察して頂き、医療のことや受診の必要性について等、小さなことでも24時間相談できる体制を整えている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院された際には、医療関係者と十分に情報交換をし、少しでも早期退院が出来るよう努めている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	随時、家族・かかりつけ医と連絡を取り意見・情報交換をしている。また、状況に応じ早い段階から医師からの病状説明をお願いし、家族が安心し納得出来る最期が迎えられよう支援している。	契約時、重要事項説明書において「重度化した場合における対応及び看取りに関する指針」を本人・家族に説明している。絶えず変わる状況下、家族、医療関係者、職員で話し合いながら納得の出来る最期を迎えられるよう支援している。「ターミナルケアプラン」を作成しホームとして最大限の力を尽くしお見送りした後、「メモリアルカンファレンス」を行うことでその過程を振り返り次の機会に活かしている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	毎年、消防署による救急法の勉強会を実施し、訓練を行なっている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年二回にわたり、防災訓練を実施し、迅速な避難が出来るよう努めている。設備点検や緊急時の連絡方法等については日頃から随時確認を行ない、有事の備えに努めている。	毎月1回、防災の日があり月ごとに決められたテーマに沿って繰り返し訓練を実施している。防災訓練が年2回あり消防署の立会いのもと行われている。今年も全員を対象として訓練が行われた。寝たきりの方、車椅子対応の方、健康上問題のある方等は職員がモデルとなり本番さながらの訓練を実施した。防災設備も完備され三分の備蓄もあり、共有スペースにある量の小上がりには手作りの防災頭巾がいざという時のために準備されている。	

グループホームうえだはら敬老園

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人一人の尊厳を大切にし、誇りやプライバシーを確保した上で関わりを大切にしている。	法人の基礎研修には個人の尊重・プライバシー保護に関する研修が盛り込まれており継続的に実施されている。年長者として敬意を払い、「ありがとうございます」の一言を添えて関わっている。異性による入浴介助などについての拒否は少ないが、羞恥心や職員に対する遠慮等を鑑み、誰が介護にあたるべきかを話し合い対応している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者が思いや希望を言える雰囲気作りに心掛けている。また、意思表示できない方には職員の言葉掛けで表情から探っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日々、笑顔がみられるように柔軟な心で関わり希望に沿った支援をしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	日々の身だしなみに必要な支援を行う。月一回併設事業所の理髪サービスを受けられるよう契約して頂き、希望者は馴染みの美容院を利用している。行事の時はその場に合う服装で参加して頂けるよう支援する。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	調理や盛り付け、片付けには毎回利用者に参加して頂いている。一人一人のADLの意思に沿い仕事を分担している。	希望献立を取り入れ、季節ごとの旬の食材で食事から季節を味わっていただいている。誕生日を大切な日と捉えケーキや好物でお祝いをしている。利用者の殆どは常食を自分で食べることが出来るが、状態などに応じて食事形態や介助量を調整しながら食事を楽しみなものになるよう工夫している。オープンキッチンでの調理は五感を刺激し、個々の力を発揮しながら利用者と職員と一緒に食事作りを行っている。法人が市内で運営しているレストランは高齢者への配慮が行き届いており気軽に食事を楽しめることからホームの行事外出時に利用している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養のバランスを考え季節の食材をメニューに取り入れたたり、水分も確保出来るように甘味をつけるなど工夫している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔ケアの重要性を学び、ご自分で出来る方には声掛け・見守りをし、支援が必要な方には義歯を外し口腔内の清潔に努めている。義歯は毎晩洗浄剤で洗浄している。		

グループホームうえだはら敬老園

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	利用者個々の必要に応じ声掛け誘導を行っている。パット・リハビリパンツ使用している方でもできるだけトイレで気持ちよく排泄ができるよう支援に取り組んでいる。	一人ひとりのリズムや習慣を把握し声掛けや誘導を行い、出来るだけトイレで排泄できるように取り組んでいる。夜間は起きた時にトイレ誘導をし、自然排泄を手伝ったり、ポータブルトイレを使うなどして状態に応じて自立に向けた支援を行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘予防に向けて食事メニューを工夫している。下剤を使用する場合は使用過多にならないよう服用の記録・申し送りをして、その時の状況に合わせた対応をしている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	出来る限り時間等も本人の希望に合わせて入浴出来るように支援している。また、入浴を嫌がる利用者には安心出来るような言葉掛けの工夫をしておこなっている。	外光の入る浴室には洋式の浴槽があり家庭と同じような環境で入浴ができる。身体状況に応じて隣接施設で機械浴を使い入浴することもできる。加齢や持病のため、入浴回数等を制限される方もいるが可能な限り対応している。ホームでの入浴を嫌がる利用者については家族面会時に背中を流していただくなど安心して入浴できるよう対応している。本人や家族の希望があれば回数を増やしたり、シャワー浴を追加するなど状況や希望に合わせて対応している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夕方から就寝に向けて、安心した時間の過ごし方を職員で工夫し、就寝リズムが安定するように環境を整えている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の処方箋をファイルに保管し、全職員がわかるように徹底している。また、変化等あった場合は随時記録をし、医療との連携を図れるようにしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	利用者の生活歴や得意な事を理解した上で、家事参加や趣味活動の参加を通じ、充実した一日を過ごせるよう支援している。また、個人の能力に合わせ、やりがいを感じて頂けるような役割を提供している。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	希望に対して出来る限り外出できるようにしている。また、車椅子等を利用し歩行困難な方も外へ出られるよう工夫している。御家族との外出は、積極的に出掛けて頂けるようすすめている。	高齢化や身体機能の低下等があり、年々全員で外出することが少なくなっているが、年間計画を立て、家族やボランティアの協力を得ながら戸外へと出掛けている。歩行が困難な方でも車椅子等を使い戸外へ出掛けられる支援に取り組んでおり、お花見やバラ園に出掛けた写真がホーム内や個々の居室内に張られていた。近所には緑が豊かに生い茂る公園があり日常的に散歩に出掛けたり、居室沿いの南西側にある広いベランダが外気に当たり周囲の景色を眺めることのできる絶好の場所でもあることから利用者と職員共に気分転換をしている。	

グループホームうえだはら敬老園

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	一人一人の金銭管理の力量を検討し、お金を所持し、買い物の際に支払えるよう家族とも相談し取り組んでいる。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話をかけたいという要望があれば、貸し出している。必要に応じ、見守りや仲立ちを行う。また、個々に家族・親族等に暑中・寒中・年賀の葉書のやり取りが出来るよう支援している。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節に合った装飾品を飾り、季節感を取り入れ、照明、材質等も温かみを感じられる物を使用している。トイレは場所がわかりやすいよう表示してある。また、職員で季節の花を持ってきてフロアに飾るよう努めている。	ホーム中央に食堂とオープンキッチンがある。対話しながら作業ができる空間と畳の小上がりがあり開放的で居心地良く過ごせるようになっている。トイレの場所は張り紙で分かり易くなっており車椅子の入れるスペースも確保されている。季節を取り入れた装飾品、外出時や行事の写真などが掲示板に張られていた。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	利用者自身がくつろげる場所を確保している。 (居間、日当たりの良い廊下等)		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家族の協力もあり、利用者それぞれに合った居室作りに取り組んでいる。	個々の居室には洗面台と洋服ダンス、チェストが備え付けられている。衣類や小物が収納され、家族やひ孫の写真が飾られている居室も見られた。家族の協力もいただき、プライバシーに配慮しながら本人が居心地良く過ごせるように環境を整えている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	バリアフリーになっており、段差解消や手すりを備え付け、安全を図っている。また、出来るだけ自力で自由に行動が出来るよう配慮している。		